

背振山系縦走(基山～雷山)

【報告・参加者】 T 寄

【日 時】 2017年6月17～18日 【天 候】 晴れ

《コースタイム》

6/17 原田 7:40→8:37 基山→11:19 九千部山 30→14:27 蛤水道 40→16:21 背振山 30
→19:12 金山水場

6/18 金山水場 3:30→4:30 三瀬峠 55→6:17 井原山 30→7:33 雷山 55→9:00 雷山観音

《 報 告 》

今回は、北ア山行の装備と食糧を確認するために、幕営することを前提に計画した。駅前のパン屋には立寄らず、身支度を整え、蜘蛛の巣と蛇除けの竹杖を手に出発する。登山口の不動滝で水垢離をされている読経の声を聞きながら手を合わせて通り過ぎる。北ア縦走の装備と水 30を詰め込んでパンパンの 30Lザックを背に、何時もよりゆっくり目に進むが、大峠からの上りで汗をかいた。

九千部山、蛤水道、背振山でアンパンを齧りながら休憩をする。また、途中の柿の原峠、七曲峠では行動食のスニッカーズミニを口にしたが旨かった。

背振山では、何時ものようにコーラを一気飲みする。寒気の影響で雷雨が予想されていたが、悪天になる雲行きでもないので、計画通りに金山水場を目指す。この区間を陽のある時間に歩くのは久しぶりである。夜間に歩く時の疲れとは雲泥の差で、約9kmの稜線歩きは、新緑の時期は過ぎたが、若緑とオレンジやピンクのミツバツツジが目を楽しませてくれた。金山水場は潤れてはいないがチョロチョロである。ペットボトルを水口にセットして、夜間に雨が降っても安心な場所にシェルターを張る。

このシェルターは今年の10月に石鎚山系で雨の中で使用したが結露で散々であったが、今回は結露は全く無かった。超軽量(短い張網を結んだが200g)で設営が超簡単(ストックをセットすればOK)、居住性は悪いが寝るだけなら何の問題もない。

お湯 650cc をモンベルのリゾッタとカップ麺に注いで3分待つ。双方とも今回初めて食するが、旨かった。自分的にはリゾッタは5分が目安かな。

30分早めに出発したので、三瀬峠、井原山、雷山で長めの休憩をとる。井原山、雷山々頂で糸島平野がスッポリと雲海に沈んでいるのを初めて見た。清賀滝で顔を洗って遊歩道をノンビリと下る。雷山観音で念入りにお参りをして、ミニバスで前原駅へ。

今回の山行で装備類・食糧共に北ア山行の準備が出来たので、後は裏山でのトレーニングに励むこととする。